

「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を目指して、
みんなで力を合わせよう！ ふたたび

市民会議 NEWスレター 2012



平成24年5月28日(月) キックオフ号

高浜市役所 企画部地域政策グループ
0566-52-1111(351)

今回の市民会議は…

- 新規メンバー60人を迎える、第2期は150人が参画！（市民92人、職員58人）
- 全体会では活動とスケジュールについて紹介！
- 分科会タイムでは自己紹介と初めてのグループワーク！
- 市民サブリーダーが決定！

高浜市の未来を創る市民会議第2期がキックオフしました！

「第6次高浜市総合計画」の実行＆点検・確認を市民と行政が協働で行う『高浜市の未来を創る市民会議』。その2期目にあたる市民会議が平成24年5月28日（月）中央公民館でキックオフしました。メンバー・傍聴者あわせて146人が参加し、会場は熱気につつまれました。

本年度より新たに60人の新規メンバーが加わり、総合計画の目標達成の評価やその目標を達成するための行動計画であるアクションプランの進捗状況や効果を検証しながら、見直し・改善を行っていきます。



▲会場の様子



ホームページも
ご覧下さい！

http://
www.city.takahama.lg.
.jp/grpbetu/seisaku/
をクリック！



【市長あいさつ】

・平成23年4月に、第6次総合計画がスタートし1年が経ち、計画を作るときにも市民のみなさんからたくさんのアイデアを頂いた。そして実際にどういう事業が組み立てられていて、どう動いているかが見えてきた。それを、皆さんと一緒に検証していくのが、この市民会議の役割。加えて、この市民会議では、自分たちで、会議のやり方や点検の仕方を変えていいって良いと思っている。幅広い分野の方が集まっているので、ぜひ、お互いの分野の交流も深めていただき、良いアイデアを出していただきたい。これからまた1年、よろしくお願いしたい。



▲市長あいさつ

市民会議でどんなことするの？

「まちづくりの設計図」である「第6次高浜市総合計画」。そして「まちづくりの土台となるルール」である「高浜市自治基本条例」。ともに、平成21年12月から約1年かけて、「高浜市の未来を描く市民会議」を中心に「高浜市がこんなまちになったらいいな」、「高浜市をこんなまちにしていきたい」という想いで、練り上げてきたものです。議会で審議、可決され、昨年の4月から、高浜市のまちづくりの両輪として、スタートしました。

「高浜市の未来を創る市民会議」の中では、市民のみなさんから、市民目線の意見、アイデアをいただき、市民と行政が役割を分担しながらみんなで力をあわせて「実行」と「点検・確認」を進めていきます。



総合計画をつくるって終わりにせず、市民のみなさんにとってより望ましい事業を展開していくことを目指して活きたものとしていくという場市民のみなさんから「市民目線の意見・提案」をいただくことによって市民のみなさんにとってより望ましい事業を展開していくことを目指していきます。



▲大家族たかはま ダー！
(竹内一仁さん、古橋知美さん、小嶋俊明さんよりご発声)

まちづくりのキーワードは「参画・協働・情報共有」！

・市民と行政が協働して、総合計画の「実行」と「点検・確認」を進めていくと…

- 市民目線のアイデアを出していくことによって、行政職員が見落としがちな視点を取り入れ、市民のみなさんにとってより望ましい事業を展開していくことができる。
- 行政活動に一定の緊張感を保つことができる。
- 市民と行政はお互いに「まちづくりのパートナー」という意識が高まっていく。
- 地域のまちづくりに積極的に関わろうという意識を持った市民が増えていく。



よろしくお願いします！



【編集後記】

本年度初めての市民会議！今回はお子さんを連れて参加される方が見え、嬉しく感じました。同時に小さなお子さんのおられる方にも、もっと参画しやすい市民会議のあり方について考えました。

みなさんそれぞれのご都合をやりくりして参画されていると思うと嬉しく感謝。そして「参画したい！」と思われる市民会議にしていきたい！と身の引き締まる思いです。

市民会議に小さいお子さんが参画するのは難しいかもしれないけれど、小さいお子さんを連れてでも安心して参画できる市民会議にしたいと思います。お子さんをはじめご家族やお友達の傍聴大歓迎です。ご一緒にされる場合には事前に事務局にお声掛け下さい。ワイワイガヤガヤみなさんと一緒に参加していただく市民会議。それこそ「大家族たかはま」ですよね。（K.K）